

つなまち

No.167

2007.4.20 APRIL



津南小学校53名の入学式



どんどん伸びろつくしんぼ



お花見、楽しみましたか

3月定例会：3/1～3/22

- 55億4,000万円「一般会計新年度予算案可決」…………… ②
- 町長所信表明「町民との協働を基調」…………… ③
- 平成19年度 施政方針・予算質疑 …………… ④
- 一般質問(多方面からの議論) …………… ⑩
- 条例改正「助役から副町長に」…………… ⑮
- シリーズ 私もひと言 …………… ⑳

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 高橋 満 男
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。



町長所信表明

町民が安心して暮らせる町づくり

本年は自律推進計画の実践3年目ですが、時代の趨勢を注視しながら、町民と共に策定した基本計画に沿って「弱者優先・僻地優先」の政治理念のもと、町民との協働を基調として、共に額に汗し創意と工夫により「住んでいて良かった」と思える町づくりに向け、一層の努力を傾注して行きたいと考えています。

平成19年度は人口と面積を基本として算出する新型交付税が2兆円規模で導入されます。僻地、寒冷地等条件不利地域に配慮し、財政運営に支障が生じないよう変動額を最小限にするとしていますが、この影響を懸念しています。

平成19年度予算編成にあたっては、このような現状をふまえ、自律計画での事務事業の見直しを徹底する一方、財政の健全性確保に留意し、町民が安全・安心して暮らせる町づくりを最優先に、予算編成をいたしました。

健全財政の堅持に努力しながら「町政は町民のためにのみある」「町政は町民を幸せにするシステムである」このことを念頭に町政運営に最大限の努力を傾けて行きます。

広域面では長野県栄村との広域連携は特に重要であり、仮称「津南・栄広域ネットワーク」を設立し、防災、医療、福祉、産業振興等、両町村が抱える広域行政課題について調査研究等連携して進めることで、栄村長と協議が整い、本年度より鋭意取り組む所存であります。議員・町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

71億9,414万8千円

特別会計

前年度対比6.47%の伸び

会計別	予算額	前年比(%)
国保	11億4,348万1千円	9.06
老人保健	16億3,561万5千円	11.21
介護保険	10億4,613万4千円	0.85
簡易水道	1億3,840万3千円	▲11.50
下水道事業	9億5,449万1千円	32.57
農業排水	2億8,780万8千円	6.73
病院事業	19億8,821万6千円	▲3.62
合計	71億9,414万8千円	6.47

国保
国保料は
6年据え置き

国保会計は、財政調整基金より5、500万円繰り入れ、昨年より9、500万円増額となります。保険料は6年据置となりますが、第2号被保険者の介護保険料は年間で1、500円引き上げ、1人20、500円となります。

介護
地域包括
支援センター設置

介護保険制度改正に伴い、介護予防の充実、相談、支援、虐待の防止など総合的支援をおこなうため、地域包括支援センターを設置します。事業費として2、406万4千円計上しました。

下水道
管渠布設
事業終盤

下水道事業は、津南原地区の管渠布設工事の促進と津南

病院
疫学調査の実施

病院事業会計は、一般会計より1億5、886万2千円の運営費補助金と、償還金や医療機器整備等として2、137万3千円を繰り入れます。事業費は前年度比1・7%減の19億5、435万5千円を計画しています。

平成19年3月定例会が、3月1日から22日までの会期で開催され、町長の所信表明、13名の一般質問、条例改正と平成18年度補正予算、19年度一般会計、特別会計の当初予算、請願4件、陳情2件、議員発議6件を審議し、原案通り可決しました。



秋山郷全戸の福祉と防災に（テレビ電話）

一般会計

55億4,000万円

(前年比2.3%減)

新規事業多数!!

広報無線更新、
町づくり町民提案事業など

平成19年度予算

町税、前年度比
7.6%の増

一般会計予算は55億4、000万円、前年度比2・29%減となります。

町税については、本年度より三位一体改革の一環として、所得税から住民税への税源移譲が行われることや、定率減税の廃止によって個人町民税は39・3%の増となります。

固定資産税は、新築住宅の低迷等によって2・5%減、たばこ税についても消費の低迷から6・8%減となり、町税総額11億4、046万8千円。前年度比7・7%増となります。

地方譲与税は税源移譲に伴う所得譲与税の廃止で49・5%減の8、880万円。地方交付税は、新型交付税の影響等もあり、前年度比2・63%減の25億9、000万円の計上となります。

繰入金は各目的基金から9、912万円、財政調整基金から7、220万円、合計で1億7、132万円となります。

広報無線の更新

広報無線の老朽化に伴い、機器の更新を行います。これは、3ヶ年継続事業として実施、今年度は中継局をマウンテンパーク山頂に建てるため1億5、095万6千円を計上しました。

町づくり町民提案事業

町づくりに町民の積極的な関わりを求めるために、町民提案事業を実施します。その為の選定委員の費用弁償を計上しました。19年度に提案が採択されれば、補正予算に計上します。

木造住宅
耐震診断事業

一般木造住宅の耐震診断を自己負担1万円を実施するもので、90万円の予算を計上。

小型除雪機械の
購入と更新に補助

集落単位での小型除雪機購入と更新に750万円計上。

商店街絵画
展示に補助

大割野商店街の活性化に向け空店舗を利用した絵画展示に35万円計上。

不妊治療の
医療費助成

少子化対策の取り組みとして、60万円計上。

一時保育の実施

子育て支援の一環として、保育園での一時保育を開始し、サポーター報償27万円計上。

浄化センターの第3系列増設工事を引き続き施行するため、前年度比2億3、450万円増額されます。

施政方針・予算を問う

津南・栄広域ネットワーク設立について

草津 進 議員

問 「津南・栄広域ネットワーク」の声かけはどちらからか。将来の合併を視野に入れているのか。

町長 これまでも衛生施設組合、観光、路線バス、秋山郷の学校関係など、栄村とは生活圏が同一である。互いに自律の道を選択し、目指す方向も一緒であり、課題はあるが、共に取り組んでいきたい。将来の合併は考えていない。

津南病院の充実を

高橋孝男 議員

問 津南病院で糖尿病等慢性期医療は大切である。さらに、急性期医療も充実を希望する。特に、整形外科医の常勤化や、他の診療科も充実させたい。看護体制の強化と患者への対応で家族の安心が大切である。

町長 医師の確保に今後とも努力する。看護師は3名採用し、患者サービスに配慮する。

町づくり

伊林康男 議員

問 この事業に町としてどのような期待をかけているか。予算は町民税のおおむね2%を充てることであるが、事業内容と目的は。

町長 自ら考え、行動する町民主体の町づくりを推進することを目的として考えている。多くの町民からの提案を期待している。



栄中学校と上郷中学校の綱ひき、しなちくまつり

健康づくり推進宣言について

藤ノ木富有 議員

問 町民の健康づくりに対する独自政策について。

町長 5年に1回アンケート調査を行い疫学調査や医療、効果の面から施策の検証をする。治療やリハビリ、健康増進は津南病院とクアハウスとの連携を図り、一貫性のある予防、治療ルールを構築。森林セラピーも健康づくりに生かす。笑顔のある町づくりをする。



自律津南に活気ある町づくり提案を



2009年 国体バイアスロン競技が予定されている

委託料は税金1千万円アップの理由は

大島知美 議員

問 マウンテンパークの管理委託料、クロカンコースの管理委託料の算出根拠は。

地域振興課長 17年の管理委託料1千万円は、町とクロスマイルで協議して、これでやれるということで決めた。豪雪、スキー場維持のための機械料と、様々なことがあり、19年は経過内容を検討して、管理委託料2千150万3千円とした。

「新型交付税」の影響はどうか

大口 武 議員

問 19年度の地方交付税は「新型交付税」が導入されるが、その影響を伺いたい。

助役 18年度の数値を新型で試算されており、3、300万円減となっているが、そのままの数字が19年度交付税とはならない。7月の本査定を待つが、条件不利地に配慮した制度設計になっているか、十分検証する必要がある。

障害者自立支援法は本当の支援になるのか

大平謙一 議員

問 障害者福祉計画で、すみれ工房の支援はできるのか。

町長 障害者福祉計画は自立支援法において作成が義務付けられているもので、福祉サービス及び、相談支援体制は数値目標を掲げ、提供体制を計画的に進めるためにつくるもの。すみれ工房については、運営に支障のないよう事業委託費などで間接支援している。

全国一斉学力テストをどう考える

藤ノ木浩子 議員

問 学力テストを実施するかどうかの決定権は教育委員会にあり、自治体や学校に独自に平均点を公表するか否かの、判断が委ねられている。町はどう考えているのか。

教育長 学習状況の分析、成果と課題を検証するため実施する。結果の公表は学校の序列化、学校間の競争にしないよう行わない。



学力テストが中学生にどう影響するのか

19年度

新型交付税の方向は

一般会計予算と特別会計に対する自由質疑を一部掲載します。

一般会計

県単農林水産業 総合振興事業

問 雪室とコンバインにあてられるこの事業は、野菜の付加価値を高めるものだが、農協など事業者一同に会しての話し合いがあったのか。

地域振興課長 事業者の共同でと考えていたがまとまらずじやがいを雪室にという事業者に決まった。

用務員の 委託料は安い

問 用務員委託料は、正規の職員に比べ安い。身分保証の改善をすべきではないか。

助役 公務員としての基本的職種か、民間で働いている人とは比べ安い賃金ではない。

大地の芸術祭

問 大地の芸術祭では作品の制作費が不透明だ。税金の使い方を明らかにし、透明性を高めたものにすべきだ。

町長 第4回も実施すると決めたが、不透明でない形でできないか、今後つめて頂く。184万円は検討委員会を立ち上げて進めていく事務費として、津南町の負担金である。

不妊治療の 補助内容を

問 不妊治療の補助内容について聞かせて頂きたい。

福祉保健課長 今年は県が1回、10万円を2回助成する(所得制限あり)それに町は上乘せし1回10万円、所得制限なしで補助をする。治療の方法は顕微受精と体外受精で県指定の立川病院で受診して頂く。

特別会計

下水道会計

問 全町で下水道工事が終わるのか、終末処理場の終結はいつか。

建設課長 債務負担行為の2億が認められている。新年度の内示がくるが、国に要望した額がくれば、予定した工事はすべて終わる。

問 下水道のつなぎ込みの啓発と公共的なものは早期に。

建設課長 町施設は率先して計画的にしなければならぬ。一般家庭のつなぎ込みは58%地域説明会や3年経過したところには文章で積極的な啓発をうながしている。

問 一般会計より2億2、500万円繰り入れがあるが、繰り入れと下水道のつなぎ込みの進捗状況の関係はどうなるのか。

安全・安心な 雪国づくり推進事業

問 集落での小型除雪機購入の際、更新も認められたものだが、今までの助成条件とどう違うのか。

建設課長 1集落1台で、冬期保安要員が設置されていない集落。出力20馬力以上もしくは、除雪幅1m以上であること。更新は10年以上経過して使用できなくなったものに認める。更新要望あれば認める。

冬期保安要員制度が 危うい

問 県補助が一層減額され、町負担は年々増えている。県に制度充実を訴えているのか。

町長 県財政は厳しい、今年制度をなくさないよう要請活動をした。基準が厳しくなり町として支援せざるをえない継続して要請活動をしていかねばならない。



春日を浴び雪下にんじんの収穫

助役 下水道債については、交付税措置が50%でそれを償還財源として繰り入れる。それ以外は使用料でまかなっていくのが原則。維持・管理も含めつなぎ込みが進んでない。その部分のまかないきれないものを一般会計から繰り入れる。

介護保険会計

問 今年度の介護サービス給付費の伸び率は。要介護1から要支援に変更となる方の人数を。

福祉保健課長 前年比減であるが居宅介護サービス給付費では2億6、289万円、施設介護サービスは3億7、835万円、地域密着介護サ-

病院会計

問 18年度は赤字見込みだが単年度の20年3月31日までの目標は。

病院事務長 実績をもとに、目標を高められている。入院は実績90人だが95人の目標に、外来は一日250人だが、実績はその数値をわっている。歳出の経費は厳しい。



だんご作りをするデイサービス利用の高齢者

後期高齢者医療は どうなるのか

問 後期高齢者医療制度が来年から始まるが、負担金の内容は、保険料はどうなるのか。75才以上の高齢者数は。

福祉保健課長 1、115万3千円の負担金は、30人の職員の人件費、レセプト点検委任料など、新潟県全体で13億円かかる費用の津南町の負担分である。保険料は10月頃決まるので全くわからない。平成18年3月31日現在で75才以上は2、408人である。

新型交付税の 方向をどう思う

問 18年で計算する新型交付税は3、300万円減となる。他市町村に比べ影響が大きい。その傾向をどう考える。

助役 交付税の算定には、補正係数があるが、今後分析してみないとはっきり言えない。国の配慮するルールづくりが必要であり、要求していく。

木造住宅耐震診断の 費用はどうなる

問 木造住宅耐震診断の自己負担は。

建設課長 診断料は、住宅の延床面積で3区分とし、70㎡未満は7万円、70〜175㎡未満は8万円、175㎡以上は10万円の定額とし、自己負担額は1万円とした。

暮らしを支える予算に!

平成19年度
一般会計、特別会計に対する
討論を掲載します。



診療報酬の引き下げが病院経営を圧迫

病院会計

賛成討論 樋口 松雄

津南病院は病気の治療だけでなく「寝たきりをゼロに近づけ健康寿命を延ばす」ことを目標としている。予算は厳しいが、生活習慣病や疫学調査を進め、全町民の健康を積極的に守り、安心と信頼のできる病院づくりに努めている。今後も一層の努力に期待し賛成討論とする。

賛成討論 根津 勝幸

診療報酬の引き下げにより厳しい運営を強いられているが、人の命を預かることとして、在宅酸素濃縮機など新器材の購入も計画している。これからの疫学研究は大学にとつてのメリットと、病院においての医師の確保と、何よりも町民に有益な情報が得られる。病院事業会計に賛成。

賛成討論 草津 進

病院事業を取り巻く環境は依然として厳しいものがあるなかで、医師、看護師の確保をはじめ経営努力がされている。「健康寿命を延ばす」ための予防医学の視点を取り入れた診療、糖尿病等の専門外来を積極的に進めている。健康長寿の町づくりとしての目標に沿った予算に賛成する。

賛成討論 藤ノ木富有

国の朝令暮改の政策転換で療養病床の運営費増となっているため一般会計から繰り出しが多くなるのは止むを得ないと考えられる。一方、大学との生活習慣病に関する疫学調査で初期治療や予防医療が進むことや24時間体制で往診することなど在宅療養支援が一層確立するよう期待する。



総文福祉常任委員会と病院職員が懇談

一般会計

賛成討論 藤ノ木浩子

地方交付税の新たな算定方式は町財政を厳しくし、住民税の大増税が住民の暮らしを直撃している。地方いじめの財政のなかでも、健全財政を維持し財政シミュレーションを策定、福祉の維持向上がめざされている。だが町長として自民党にお付き合い以上にふみ込むことに懸念を申す。

賛成討論 河田 強一

夕張市が財政破綻した厳しい状況下では弱者が一番影響を被る。わが町においては健全財政の堅持に努めるなか、長年の懸案であった広報無線の更新、また、町づくり提案事業等により、町民との協働による町づくりが期待される。予算全体を見てもバランスのとれた予算であり賛成とする。

賛成討論 草津 進

津南の未来に向けて自律3年目の階段に足を運び始めている。「弱者優先」「へき地優先」の政治理念、信条を基とし住んでよかった町づくりが進められている。財政の健全性の確保を最優先し、町民要望に大きく応えた19年度予算編成であり、苦心した結果が伺える予算に賛成とする。



介護保険会計

反対討論 藤ノ木浩子

19年度は、町直営で地域包括支援センターが介護予防事業を中心に活動が始まり、地域密着型介護サービスも展開される。しかし、現状は施設入所待機者の解決策も見えず利用負担10万円では申し込みにもいけない。福祉用具の利用制限やサービス切り下げの介護予防事業対策は許せない。



5月にオープンする地域密着型介護サービス施設

活気ある人口1万3千人目標は

町長…定住基盤整備と後継者育成である

●草津 進議員

地域の活力と若い人材の確保は

問 津南町における人口減少の歯止め対策と、活気のある人口1万3千人の町を目指す将来像の具体策は。

町長 新潟県では安心して子供を生み育てる環境整備、住みやすいふる里づくりと暮らしやすさの発達の予算づけがなされている。各市町村との連携が大事であり、津南町としては19年度新規事業として一時保育、さらには不妊治療の助成を行うが、自治体だけの対応では限界がある。人口増加策としては定住基盤の整備であり、農業後継者の育成であり、イターン、Uターンの受け入れも積極的に受け入れることである。

デイスポーターの導入研究を

問 生ごみ減量作戦でキッチンシンクに設置するデイスポーター



子育て環境整備を!

ザー（配水管へ流すシステム）の実験に取り組み考えはないか。

町長 当町では認めていないが直接投入型導入実験については、町単独では容易でない。国土交通省で平成12年から4年間社会実験を実施した。当町への下水道システムへの影響は、流入が増加し処理場の設計での対応が困難である。

マウンテンパークの現状は

町長：少雪のなかで努力している

●津端 眞一 議員

スキー場の現状と今後の展開は

問 今冬の異常少雪で、全国のスキー場で運営に苦慮している。マウンテンパークではどの様な状況か。また、日本一の階段づくり構想に町はどの様に関わっていくのか。

町長 今年の異常少雪で、年末の合宿等キャンセルが多かった。その後は順調に推移している。しかしながら3月後半の大学の大会が心配される。必死に努力していると聞いており、大会実施できることを願っている。階段づくり構想は、地元にて実行委員会を組織し、町民



芸術祭作品浮かぶ上野ため池

主体の取り組みに期待したい。町として具体的な進展状況を見ながら、必要な協力と側面支援をおこなう。

上野ため池改修を

問 上野ため池は芸術祭作品展示場でもあり、観光面でも必要と考えるが、老朽化のため改修が必要だ。

町長 景観上としても大切な池と認識している。3年程前漏水が認められ補修に支援してきた。今後改修工事においては、事業量等考慮したなかで、堤防改修工事について、町として協力は必要と考えている。

公共事業の入札率もっと下げられないか

町長：入札については国県も一般競争入札の方向

●大平 謙一 議員

入札の方法は多種あり競争性透明性が大事

問 入札率は95%以上が多く、入札方法を検討し制度改善が必要ではないか。

町長 現状の町内業者優先というスタイルを変えて一般競争入札を導入すれば、競争力がアップし落札率が下がる。しかし、町内業者には打撃になり、手抜き工事や下請けへの締付等が問題となる。

助役 公募型の簡易一般競争入札等の手法も検討しなければならぬ。この場合町内に本店がある業者、町外でも支店営業所を持っている業者に限る。

民間に委託した町施設の管理責任はどこまで

問 町が民間に委託した施設の管理、運営は業者の責任と、思うが線引は契約書に明記されているのか。

町長 管理責任は、契約書第3条に「施設管理運営上受託者がみずから使用する経費のほか、故意又は過失により施設等を破損した時の修繕費等は受託者の負担とする」と明記している。マウンテンパークの場合2年間の平均は3、151万円です。リフトや圧雪車の修繕料借地料も入っている。直接支払ったものは2年平均年1、514万円であった。



民間委託で経費削減

団塊世代をわが町に受け入れを

町長…わが町の特徴をアピールし取り組みたい

●河田 強一 議員

受け入れを積極的に

問 団塊世代が定年を迎える。このなかにはスローライフを求めている方が多くおられると思われる。農水省の支援策もあり、わが町への受け入れを積極的に進めてはどうか。

町長 団塊世代のアンケートでは、田舎暮らしやスローライフへの憧れは強いようであるが、実際に行動を起こすのは少ないと言論評もある。しかし、少数であっても彼らの行動は前向きに受け止める必要がある、わが町の特徴をアピールしながら、受け入れに取り組みたいと考えている。



保育園の給食にも地元農産物を

問 小学校では農家や協力者によって地元農産物を給食に提供いただいている。この方法を保育園まで拡大実施出来ないか。

町長 どの様な形で提供できるか現在小学校に協力頂いている皆様や、職員の意見を聞き検討させていただきます。

地元食材で元気はつらつ!

少子化対策に町は

町長：町も支援はしているが、全てではない

●吉野 徹 議員

出生率対策

経済的支援は

問 町が目指している人口増加とは裏腹に、出生率低下と人口減少はいまだ続いている。少子化対策として新年度から新たに取り組む不妊診療費助成事業の内容は。また、子育て支援として、ホームヘルパー派遣事業の創設や、町単独の児童手当の考えと、関連家族に対し、一定期間での町内割引券発行制度の創設を。

町長 診療費補助事業は年一回10万円を上限とする。国では次世代育成支援対策のなかで、育児支援家族訪問事業として出生後まもない時



次世代の育成支援を

期に養育に困難な家庭を訪問し、育児、家事の援助や指導を行っている。町として必要であれば新たに町単事業としてホームヘルパー派遣事業の創設も考える。また、子育て支援では通園費補助や保育園入所費の軽減補助等支援策に取り組んでいる。

児童手当は国の制度であり、本年4月より第1子、第2子は月額1万円に増額され、小学校卒業まで支給される。第3子については1万円が現状の継続である。商品券発行については児童手当の主旨から考えられず、現状での対応は難しい。

観光振興の基本姿勢は

町長：農林業を基本とし観光振興に取り組む

●伊林 康男 議員

観光産業の地域への波及効果は

問 企業誘致や公共事業などに期待できないわが町にあっては、自ら産業を興し、就業機会を拡大し、所得を創造する地域経済の自律的構築に取り組むべきと思うが。また、地域の文化を振興するのは観光の力であることから、同産業を重要な物と見なし、積極的な推進を図るべきと考えるがいかがか。

町長 農林業を基本としながら観光振興にも取り組むことを町づくりの基本的目標としたい。本町観光資源の豊かさ、多様な取り組みが注目を集め、一時60万人の入り込み客を見た。観光産業は地域経済に与える影響が大変大きいものであることから、他地域に勝る自然をいかに活用して、観光ニーズに的確にこたえていくかを考えねばならない。



観光キャラクター「つなっぺ」

グリーンツーリズムの定着は

問 都市住民の田舎、自然への回帰意識や子供達の情操体験からも本事業は重要と思われるが、どう発展定着させるか。

町長 多様な農業生産活動の一環として、また持続的な収入確保等地域の活性化策として発展、定着させたい。

中津川運動公園の完成見込みは

町長：完成時期は不明である

●高橋 孝男 議員

スポーツの場や町民の潤いの場が必要

問 中津川の多目的グラウンドで津南オリンピックやテニス等、また、子どもたちの川遊びが出来なくなつて久しいが、公園等の完成見込みはどうか。

町長 大倉トンネル掘削の残土、今後5万㎡の置き場と予算の関係で完成時期は不明。テニスコート、多目的グラウンドが復旧しても公園計画はない。しかし、遅れている床固め工の進み具合によっては、平成13年の水辺ブラザ構想を進める検討もしたい。



いつできる？運動公園

町工事発注「入札」の適正化について

問 ①下水道本管工事と水道管布設工事とも同時施行であっても2工事とも入札すべきである。近隣4市では入札行っている。また、財務規則の判断は業者有利である。

町長 ①事例の場合財務規則第139条第3項第4号により不利と認められ、随意契約とした。②行政指導はむしろ特定の談合の補助にあたるおそれがある。

助役 入札問題は、より競争性と透明性を高めるため、今後発注方法を検討したい。

自然環境条例の制定を

町長：十分勘案し今後の課題に

●樋口 松雄 議員

町の自然環境保全に条例を制定しては

問 美しい農村とはそこに生きていく人々の生活と、動植物が保護され、美しい農村景観が維持される為の施策が必要とされている。多様な土地利用や植生は、この地域の宝であり、今こそ自然の価値を深く認識し、その恩恵を永遠に享受できるよう、自然を保護することが町民共通の責務である。町内外からの入山者による山野草等の乱獲だけでなく、一般農作物の窃盗、ごみの放置等被害が甚大である。観光振興や都市との交流を図る上からも是非ルール、マナーを守り、自然と調和した環境づくりのための条例制定が必要と思うが見解は。

り、広範に渡り町民の理解を得ながら実施しているところである。条例制定については、十分勘案しながら今後の課題として考えている。

町長 自然環境の保護については、地球規模で考えられている。当町においても危惧しているところである。県と共に環境基本計画を推進中であ



恵多い津南の自然

貧困と格差・低賃金対策について

町長：構造改革規制緩和が格差を生む

●大口 武 議員



賃金は、高いのか、安いのか？

せめて生活保護基準以上の賃金を

問 私どもが行った町民アンケートでは「低賃金をなんとかしてほしい」とする切実な思いが多数寄せられた。「町内企業の賃金のレベルアップが必要」という意見とともに「地元企業にもっと出せ」という意見もある。
答 統計からも地元企業経営は10年前との比較でも大変厳しいものになっているが、私は少なくとも生活保護基準以上の賃金であるべきと思う。貧困、格差、低賃金の実態をどのようにお考えか。

町長 構造改革、規制緩和、民営化の流れのなかで、所得格差が生まれ、拡大され、日本の貧困率はアメリカに次いでワースト2となっている。大都市に遠く大企業も少ない新潟県も市町村も所得が低いのが実態である。当町も地理、気象条件、圏域人口等により多様な企業立地には難しいものがあるが、進出企業を中心に業績、雇用も拡大しており、一層の進展を期待している。賃金実態の把握は難しいが、18年十日町地域の初任給は高卒15万1千円、大卒18万円となっている。限られた産業しかない当町で、ある程度の所得差は仕方がないと思う。

学校給食調理員の雇用形態の再考を

町長：NPO等への委託変更も検討課題だ

●藤ノ木富有 議員

請負契約の調理員採用は疑問だ

問 新年度から小中学校調理員23名が個人業務委託（請負）となり、8時間労働でありながら社会保険は勿論のこと、雇用保険、労災保険にも加入できず、退職時の保障もない。正社員への転換推進や均衡の処遇を焦点とした議論が進められている現状や調理業務の重要性を考え合わせると経費削減のみの請負契約による雇用形態を考え直し、給食業務に精通したNPO法人等に調理と配送業務を委託する方針を検討すべきと思うが。

町長 当町でNPO法人が立ち上げられ給食関係が出来れば、それに越したことはないだろう。社会保険等掛けない大変厳しい労働環境であり、ある程度、考え直しも必要かという思いもある。今後の検討課題としたい。

将来を見据え看護師の充足、確保を

問 看護師不足が心配されるなか、深夜勤務回数を減らすとか、看護師住宅の確保等労働環境の整備が重要では。
町長 看護師確保は厳しい。新卒者のみならず、募集年齢を引き上げる等条件を緩和して対応していきたい。



整理整頓、学校給食室

住民要求実現可能な財政か

町長：町民の暮らしを守り健全財政を堅持

●藤ノ木 浩子 議員

三位一体の改革と財政運営

問 平成19年度一般会計予算は55億4千万円。小泉構造改革は、住民の暮らしに直撃を与えている。医療や年金改悪、介護の取り上げ、施設の利用料負担増、病院の経営難、老年者控除や定率減税の廃止など、住民はあらゆる生活面で先行きどうしたらいいか不安でいっぱいだ。

町長 地方政治では、国政による「三位一体の改革」で財政的締めつけが行われている。「住民福祉の増進を図る」自治体の使命をどう発揮するかが、問われる。住民要求実現可能な財政状況か。



子育てを支援する町づくりを

町長 あらゆる住民要望は困難だが、町民の暮らしを守り安全、安心な住環境を最優先し、健全財政を堅持しながら町政運営を行う。
問 地方交付税は町財政の生命线であり、予算の約5割を占めている。これはすべての自治体に福祉、教育などナショナルミニマムを保障する財源保障の仕組みだ。それが三位一体の改革で壊されようとしている。見解を。

給食費の未納は

教育長：未納はない

●五十嵐 英教 議員

我が町の状況は

問 全国的に問題となっている給食費未納について、当町の状況を伺う。

教育長 給食費未納は全国で22億円余と報道されている。当町は中学校で今年度2件発生している。経済的理由であり、修学援助制度に該当するので申請している。もう一件は年度内に納めることとなっており、当町では未納はない。

いじめ問題はどうか

問 今や学校だけでなく、「いじめ」が問題になっている。学校内ではどうか。

教育長 小、中学校でもあるのが事実である。いじめの問題は簡単でない問題でもあり、早期発見、みて見ぬふり等絶対に許されないものである。先生、保護者と共に考え、指導していく。



ノロウイルス

指導はどうか

問 昨年発生が多かったが、学校への指導はどうか。
教育長 芦ヶ崎小で発生した。給食は3日間中止し、衛生管理には気をつけるように指導していく。

いじめをなくそう！春休みの教室

平成18年度 最終補正予算

一般会計 **60億8,638万2千円**



昨冬の豪雪(前倉)1月7日撮影

一般会計補正予算は、1億2,218万円を追加し総額60億8,638万2千円となりました。

歳入では、地方交付税の確定により、2億2,674万5千円の増。雑入金で豪雪見舞い金、森林災害共済金、防災対策事業支援交付金、中越地震義援金配分金を合わせ、3,942万2千円等が増額されました。これらにより財政調整基金等より繰り入れを予定していた金額(1億4,412万4千円)を各基金に戻し、新たに6,776万8千円を基金に積立しました。

- 主な補正金額**
- 財政調整基金積立 4,291万3千円
 - 豪雪対策基金積立 2,485万5千円
 - ことばの教育 教室改修費等 200万円
 - 津南病院運営補助金 5,000万円
 - 後期高齢者電算システム委託料 989万1千円
 - 観光施設整備材料費 (龍ヶ窪温泉露天風呂改修の材料費) 199万8千円
 - 商工信用保証補助金 761万3千円

特別会計

国民健康保険	12億1,202万3千円
老人保健	17億6,863万2千円
介護保険	10億1,395万2千円
簡易水道	1億8,013万9千円
病院事業	19億9,503万4千円

国 民健康保険会計
638万3千円の増
年度末による調整と、一般管理費の増額等

老 人保健特別会計
増減なし
医療諸費の中での入れ替え

簡 易水道特別会計
176万5千円の減
各工事費の減額等

病 院事業会計
644万4千円の増
医業収益の減少と、費用の増加による。

介 護保険特別会計
7,288万4千円の減
介護サービス等において、保険者負担金の減額等

地方交付税減少に対する対策は

町長・新型交付税はまだ不確定部分がある

● 富沢 春江 議員

将来に向け
財政健全策を

問 19年度一般会計予算は昨年対比2.29%減。自律町づくり計画比では3.1%の減であり。地方交付税の額は3億円弱の減、また、基金取り崩し額は500万円のところ、1億7千万円となっている。町づくり計画の収入シミュレーションは厳しい見積りとしたと聞いているが、現状は遥かに厳しく推移してきているのではないか。早急に将来に向けた財政の健全策を講ずる必要があると思われる。税収等収入の増への対策と見込み、福祉関連費の増加と財政割合について、また、行政のスリム化等経費削減策をどの様に考えているか伺う。

町長 国では景気回復により市町村民税10%増を見込んでいる。本町では町外に本社を有する企業の法人税は2.9%の増、個人町民税は減とな



町税の伸びには、活性化が必要

る見込み。経費削減は15年度実施したが各課で改めて見直しを実施する。交付税については、新型交付税が今年度から導入されるが、不確定部分かなりある。7月時点には数字がはじける。最終的には臨時財政対策債と合わせ、充足できると見込んでいる。

表

五十嵐 英教議員……15年表彰
議会広報初の全国表彰……奨励賞

彰



「議会広報 初の全国表彰」

平成18年度、第21回町村議会報全国コンクールにて、津南町議会広報163号が、全国奨励賞を受賞しました。津南町議会広報では、全国表彰は初めてであり、今後もより見やすい、読みやすい編集に努めます。



「4期 15年表彰」

五十嵐英教議員は、4期15年の長期にわたり、議会、町政に貢献され、その功勞に対し全国町村議会議長会より表彰されました。

請願 陳情 意見書

意見書4件を国に提出!!

本定例会において、請願4件、陳情2件が各委員会に付託され、継続審議と合わせ5件が採択され意見書を提出、3件が継続審議となりました。

要旨 政府は日豪FTA締結に向けた交渉を中止し、国内自給による食糧安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールを確立すること。

提出先
内閣総理大臣
農林水産大臣
外務大臣

要旨 高齢者が安心して療養出来る入院、入所施設やベッドの拡充と在宅での医療、介護サービスの拡充を図ること。

提出先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
財務大臣

要旨 療養病床の廃止・削減を求める意見書

要旨 公費負担対象者が引き続き良質な医療を安心して受けられるために、現行の医療費負担制度を堅持すること。

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

要旨 「市場化テスト」の導入及び業務の拡大は、プライバシーの侵害、個人情報漏洩など、住民の権利保護に留意し慎重に対応すること。また、地方自治体の自主性を尊重すること。

提出先
内閣総理大臣
行政改革担当大臣
総務大臣

要旨 プライバシー侵害、個人情報漏洩など、住民の「安心・安全」の後退が懸念される「市場化テスト」の拡大・推進に慎重な対応を求める意見書



監査委員に 石沢 久氏を選任

選任

本定例会において、収入役の廃止に伴うものや、助役が副町長となる名称変更など12項目の制定・改正・廃止議案が提出され、可決しました。
また、議会会議規則及び委員会条例の一部も改正しました。

条例制定・改正・廃止

◆津南町一時保育事業に関する条例の制定
本年度よりおこなう一時保育事業に伴い、条例を制定しました。

◆津南町国民健康保険条例の一部を改正
国保の基礎賦課額の限度額を63万円から65万円に引き上げをしました。

◆津南町高齢者コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正
60歳以上のかたの使用料100円を頂くことになりました。

◆津南町副町長定数条例の制定
◆津南町特別職報酬等審議会条例の一部を改正

◆津南町特別職の給与に関する条例の一部を改正
助役を副町長と改める、語句の改正です。

◆津南町収入役事務兼掌条例の廃止
収入役退職に伴い助役が兼務していた条例を廃止したものです。

◆十日町地域広域事務組合規約の変更
十日町市助役を十日町市副市長に、収入役を会計管理者に改めるものです。

◆津南町税条例の一部を改正
町吏員を町職員に改めるものです。

◆津南町監査委員条例の一部改正
地方自治法の改正により町の監査委員を2名と定めたため第2条を廃止しました。

◆津南町職員の給与に関する条例の改正
職員の給与のなかから、控除出来るものを、細かく規定したものです。

◆津南町議会会議規則の一部を改正
委員会が議案を提出するとき理由を付け議長に提出出来るようになりました。

◆津南町委員会条例の一部を改正
閉会中においても議長が委員を選任出来るように改正しました。



100円で!!

おせわになりました



山田 卓夫（会計管理者）
一年間の議会事務局勤務でありました。

が県町村議协会会长、全国町村議長会理事等の要職に就かれており全国的な場での活躍を近くで拝見し貴重な経験をさせていただきました。地方分権が進むなか、議長さん先頭に自律の町づくりで議会の一層のご活躍ご祈念申し上げます。

よろしくお願ひします



村山 昇（税務町民課より）
このたび議会事務局長を拝命しました。本格的な地方分権時代を迎え、地方自治体の自己決定、自己責任の度合いがますます強まっており、議会の重要性が全国的に注目されています。私は、議会事務局は議会の円滑な運営と活発な議員活動を支える縁の下力持ちとの考えのもと、その実現のため専心努力してまいる所存です。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

桑原 次郎（地域振興課より）
目配り気配り心配りがすばらしい大口先輩の後任なのでプレッシャーがあります。緊張感が私を支配しています。議会をより身近なものに感じていただけるよう全力投球して参りたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。



大口 久男（福祉保健課）
この3月末をもって6年間議会事務局にお世話になりました。

りました。この間は地方分権が進み議会の役割がますます重要になってきたなか、皆様のお役に少しでも立てたか気になるところであります。議会の定数もこの秋より2名減ることになっていますが、更なるご活躍をご祈念申し上げます。



このたび議会事務局長を拝命しました。本格的な地方分権時代を迎え、地方自治体の自己決定、自己責任の度合いがますます強まっており、議会の重要性が全国的に注目されています。私は、議会事務局は議会の円滑な運営と活発な議員活動を支える縁の下力持ちとの考えのもと、その実現のため専心努力してまいる所存です。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

目配り気配り心配りがすばらしい大口先輩の後任なのでプレッシャーがあります。緊張感が私を支配しています。議会をより身近なものに感じていただけるよう全力投球して参りたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

シリーズ・町民の声
私もひと言



「故郷に帰って」

赤 沢 滝沢 勇太さん

大学を卒業して、家業の農業の手伝いをしています。去年は体を慣らすのが精一杯で、一つ一つの作業に気を配っている余裕が正直ありませんでした。幼い頃は、家の手伝いという形で農業を見ていましたが、実際に1年を通してみると自分の認識が甘いことに気が付きます。体力面ではもちろんですが、農業を営むには多様な知識が必要です。農作物の生育に気を使うのはもちろんですが、気象や地質、生育場所、使う農薬によっても生育に

大きな影響が出ます。わずかな油断やおごりが、時に大きな損害を招いてしまうこともあるのです。事前に予兆はあるそうですが、今の自分ではそのような微妙な違いを認識することは出来ませんが、いずれは自分の知識を元にその判断が出来るようになりたいと思います。

これから、様々なことがあります。時に逃げたり、反発したりするでしょうが、頑張りたいと思います。



「未来へ」

相 吉 涌井 智子さん

私が最近心に留めている事。それは人と人とのつながりの大切さです。以前読んだ本に「六次の隔たり」という言葉がありました。これは自分と他人のつながりを説明するのに、間には最高で、6人しか存在しないという事です。この6人を探し出すのは困難な事です。たった6人と思うと他人も他人でない気がしませんか？全く初対面の人でも話していくうちに実はつながりがあるとわかった瞬間、急に昔からの知り合いの様に距離が縮まっ

た経験は誰でもあると思います。私は津南で生まれ育ち、今まで子供からお年寄りまでたくさんの人に出会ってきました。出会った人、一人ひとりから色々な事を学んできました。その一人ひとりが私の先生であり今後たくさんの先生に出会いたいと思います。そう考えると、この町に住む人が皆先生です。今の津南町があるのも人と人とのつながりの結果だと思っています。この町の未来の為にその大切さを感じ、伝え続けていきたいと思っています。

編集後記

ばかばか春らんまん。昨年
は大雪、今冬は小雪。今の気
候はどうなっているのだから
か。自然の現象は長い間変る
ことなく、降るときに降り、
暑くなるときには暑く、そう
でなければ人間、動植物の生
態の調子が狂ってしまう。今
年は少雪で町の中が静かで、
人の流れも少なかったように
思える。町中をタイヤドーザー
のチエーン音が響く時の方
が、活気がある様に思える。
この冬は散歩や読書をする人
が多かったとか…。
これから春本番。春作業は
疲れるといえます。小さくとも
キラッと輝く我が町で頑張
りましょう。(勝)

訂正とお詫び
議会だより先号一般質問
(P5)の教育委員長の答弁
中「町教育振興計画会議」
とありましたが原稿の間違
いでありましたので「(国の)
教育振興計画会議」と訂正
し、お詫び申し上げます。